

7Day プログラム

京都府では、仕事だけではなく、結婚や家庭、子育て等を含めたトータルの人生設計（ライフデザイン）を具体的にイメージしていただき、「京都で働きながら子どもを育てる」ことを体験的に学ぶ「仕事と育児の両立体験プログラム」を実施しています。

プログラムでは、座学だけでなく、実際に両立されているご家庭のご自宅へ訪問し両立生活を体感するフィールドワークも 2 日間行いました。プログラムを体験した学生たちが、体験を通しての意識の変化や自分自身のなりたい姿、仕事と育児の両立が可能な社会の実現に向けた課題・施策の提案について、プレゼンテーションを実施しました。

7 Dayプログラム アイデアで未来を変えよう!

定員10名

コロナを経て、在宅勤務・男性育休など働きながら子育てしやすい社会づくりは進んできました。実際に企業で働く人はどう感じているのでしょうか？子育て家庭と触れ合い、その体験を振り返り、両立する上での社会課題に向けたアイデアをプレゼンテーションする充実したプログラムです。

日 程	
Day1	8/5(土) 10:00~16:30 両立家庭って？ 動画ワーク、人生年表など
Day2	8/6(日) 10:00~16:30 こどもとの関わり、 行動を考えるワークなど
Day3	8/7(月)~8/27(日) のうち1日 家庭での両立体験 
Day4	8/28(月) 13:00~16:00 社会に当事者意識を 持つてどういこと?など
Day5	8/28(月)~9/11(月) のうち1日 家庭での両立体験 
Day6	9/12(火) 10:00~12:00 中間プレゼンテーション、 フィードバックなど
Day7	9/24(日) 最終プレゼンテーション

会場：京都市下京区五条通堺町角塩釜町363
株式会社ウエダ本社北ビル3F utena works内

タイムスケジュール例	
18:00 - 18:30	保育園と一緒に迎え
18:40 - 19:20	夕食準備や家事のお手伝い
19:20 - 19:40	子どもと遊ぶ
19:40 - 20:30	インタビュー



※コロナの感染拡大に応じて内容を一部変更することがあります。

7days プログラムは、事前研修 2 日間、フィールドワーク(ご家庭訪問)2日間、事後研修1日、最終プレゼンテーションで構成されています。この約2か月の間、学生たちは講座やフィールドワーク以外にも、自主的にチームで集まったりオンラインミーティングを重ねたりしながら最終プレゼンテーションに向かって準備をしてきました。

■最終プレゼンテーション

日程:9/24(日)

時間:13:00~16:30

会場:京都府京都市下京区塩竈町 363 株式会社ウエダ本社北ビル2F

■参加者

人数	属性	性別	学年
発表学生 7名	立命館大学	女性2名	2年(1名)3年(1名)
	同志社女子大学	女性1名	2年(1名)

	京都ノートルダム女子大学 福知山公立大学	女性 2 名 男性 2 名	3 年(2 名) 3 年(2 名)
参加者 大人 18名 こども 7名 保育見守り 2名	受け入れご家庭 課題提示企業 行政職員 学生 スタッフなど	女性 15 名 男性 3 名	

■当日の流れ

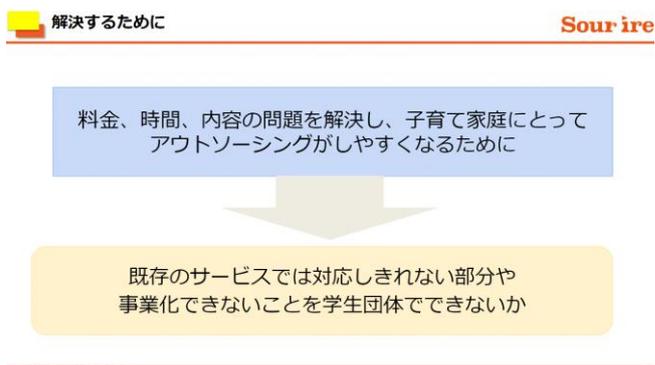
- ・開会のご挨拶(京都府子ども・青少年総合対策室 参事 岩崎 宏紀)
- ・仕事と育児の両立体験プログラムについて (スリール株式会社代表取締役 堀江敦子)
- ・企業からの課題提示
 - ー 株式会社三笑堂 (人事部 井元宏美様)
 - ー 株式会社村田製作所 (人事部 児玉 知香様)
- 課題【男女ともに仕事と育児を両立しながら活躍し、会社として発展していくためにはどうすればよいか】
- ・各チームからのプレゼンテーション
- ・参加者と学生との対話
 - テーマ：学生の提案をより実現に近づけるためには
- ・総評コメント (株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村充泰様)
- ・修了式

■学生のプレゼンテーション

それぞれのチームに分かれ、このプログラムに参加しての気付き・変化を発表するとともに、企業様からいただいた課題【男女ともに仕事と育児を両立しながら活躍し、会社として発展していくためにはどうすればよいか】について、解決案を考えプレゼンテーションしました。この日のために、講座以外に個別に集まりミーティングを重ね、何度も案を練り直し、当日も朝から集まりリハーサルをし本番を迎えた 7 名の学生たち。思いの詰まった素晴らしいプレゼンテーションでした。

プレゼンテーション①チームりくがめ

テーマ：「学生団体ファミサポ」





プレゼンテーション②チームたんぽぽ
 テーマ:あんたの家事たすけたるか

自分たちが考える「アイデア」

Sour ire

課題「育児短時間勤務者の男女差」に対して
 「企業」ができることのアイディアは

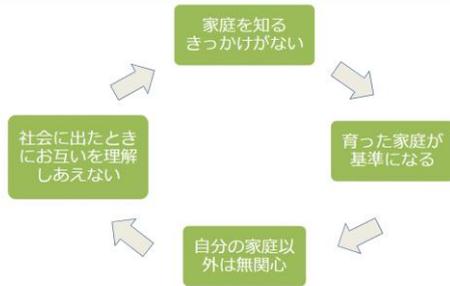
家事代行の依頼にかかる負担を
 会社と社員で折半する

© Sour ire All Rights Reserved



プレゼンテーション③チームなゆなる
テーマ:家庭と社会を知るきっかけプログラム

サイクルする「課題」 Source



■参加者と学生の対話

テーマ: 学生の提案をより実現に近づけるためには





<研修の感想>

プレゼンテーション発表学生

・今回他人のご家庭にお邪魔するという貴重な体験をさせて頂いた上で、プレゼンで発表し、最後色々な人とアイデアを深めることができたというこの経験はとても耐え難いものだなとすごく感じています。本当に 7 日間ありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

・なかなかできないことを経験させていただいて、しんどいこともあったけどいろいろな方とも出会えて本当に良い経験になりました。

・正直、子育てについて知りたいという動機があったわけではなくて、夏休みなにかやってみたい、人前でプレゼンする機会があるという点で参加を決めたのですが、子育てや仕事について考え方が変わっただけではなくていい経験が積めたと思っています。一つのプログラムを提案するということが、企業の方の意見が聞けたこと、自分について考えたことなどなかなか体験できないようなことができ、今後の自分とか価値観についても捉え直すことができました。

・自分の力でアイデアを完成まで進めていく実行力がついたと思います。また、プレゼン力も以前より身につきました！

・最後のプレゼンテーション後のブラッシュアップがとても良かった。いろんな分野の人がいて、その中での交流は面白かったし、大学生活に活かせると思った。

・ご家庭へ訪問させていただいて育児を目の当たりにして体験させてもらったことで、自分が今まで知らなかった「ほかの家庭」の様子を体感できたことが、まず自分のこれまで

の価値観が変わる大きな出来事でした。そして、このプログラムで6人のメンバーやスタッフの方達に出会えて、課題に向けて自分が持っている価値観や社会の問題点について深く話し合ったこと、プレゼンに向けてともに頑張った経験というのが、このプログラムに参加しての1番の大きな収穫になりました。大学の授業の中だけではなかなかここまで深く話し合える機会というのがないので、ほんとうに貴重な経験になったと思っています。ありがとうございました。

・自分の考え方の視野を広げられただけでなく、周りの人の考え方に触れることができ、自分自身の成長に繋がりました。この経験をこれからも生かしていきたいと思います。そしてプログラムを実現したいという気持ちがとても強く、是非実現して私たちが目指す社会にしたいです。

プレゼンテーション会参加者(抜粋)

・大学生が真剣かつ具体的に社会について考えている姿に感銘を受けました。堀江社長の「社会は変えられる」という言葉にも大変勇気づけられました。

・参加された学生の皆さんが真剣に1カ月間とりくまれたということが良くわかる。良いプレゼンテーションでした。

行政の立場で参加させていただきましたが、今後のとりくみのヒントをいただいたように思います。

・自分が大学生の時（そして、今もですが(笑)）自分のことしか考えていなかったなあと恥ずかしくなりました。

皆さんのような学生が増えていけば、社会は本当に変わると思います。

今回のプログラムで学んだことを、自分の人生に活かしてゆくことはもちろん、周りにも広げて行ってください。皆さんならできると思います。お疲れ様でした。

・課題から、ご自身の体験・価値観にもとづいてアイデアを形にし発表までもってこられたことはすばらしいと感じました。